



### 起震車体験

厳しい寒が続いています。来週には立春を迎えますが、園では風邪やインフルエンザが流行りはじめていますので、お子さんの体調がすぐれないときは無理をせず、ゆっくり休むようにしてください。

さて、先日、九州日向灘で大きな地震がありました。「地震は忘れた頃にやってくる」と言われていますが、北方町も例外ではありません。防災意識を高めていかなければいけないことを全職員で確認し合いました。本園では、原則、月に一度「命を守る訓練」を行っています。訓練の成果でしょうか。子ども達は、担任の先生の指示のもと素早く落ち着いて行動できるようになりました。これからも繰り返し訓練を行い、真っ先に自分の命を守る行動を取ることを大切に取り組んでいきます。

先日、年長児が保護者と一緒に「起震車体験」を行いました。起震車は、震度2～7までの揺れの設定ができるため、一家族で2つの疑似体験をしました。怖いもの知らずの子どもの中には「震度7に挑戦する！」と気合十分。それでも震度6や震度7を体験した親子は「怖かったね。」「すごく揺れるね。」と、びっくりした様子でした。また、保護者の中には「本当に巨大地震が起きたら、ものが倒れたり飛んできたりするので怖い。」「(起震車による揺れとわかっていても) どうすることもできなかった。」など、地震の恐ろしさを実感したようです。起震車体験後、消防士の方から、自分の命を守る行動について話を聞きました。「本当に地震が起きたら、訓練以上のことはできない」ということを教えてもらい、日頃の訓練の大切さを確認しました。

### 雪あそび

1月10日(金)、明け方から勢いよく降り始めた雪が、登園時には駐車場や園庭が一面真っ白になりました。足元を気にしながら登園する親子の表情は正反対で、子どもはとてもうれしそうでした。その理由は、待ちに待った雪あそびができるからです。登園後、すべての子ども達が園庭へ駆け出し、思い思いの雪あそびを楽しみました。めばえ組(0歳児)の子は、初めての雪にびっくり。「手が冷たいよ、ひりひりする。」「もっと雪が降らないかな。」と、言いながら雪だるまづくりに挑戦をする年長児。子ども達は、季節を感じながら雪あそびに没頭しました。



震度7!

激しい揺れを親子で体験!!



真剣な表情で消防士さんの話を聞く年長児

冷たいよ。



楽しいな。大きな雪だるま!

